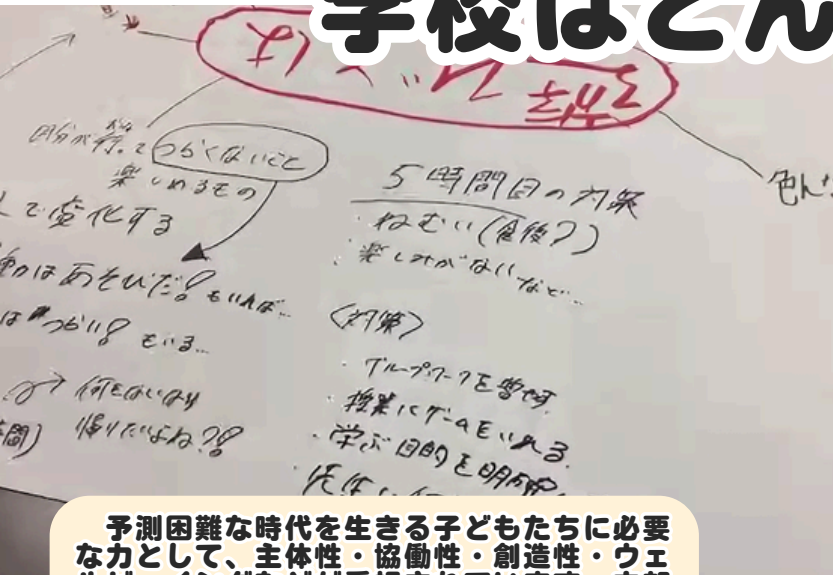


# Zone E 学びと教えのニューノーマル

学びと教えの新しいすがたカタチ  
をみんなで考える

## 遊び心があふれる 学校はどんな学校？



予測困難な時代を生きる子どもたちに必要な力として、主体性・協働性・創造性・ウェルビーイングなどが重視されています。文部科学省が示す“探究的な学び”や、OECDが提示する“Agency”にも、その方向性を見ることが出来ます。一方で学校では、**探究なのに、自由を感じない…一部の人だけが盛り上がりつつある…そんな違和感を抱く場面もみられます。**では、**子どもも大人も、もう少し“遊べる”学校はつくれないのでしょうか。**

2月のセッションでは「遊び」をテーマに対話を重ねました。そこで見えてきたのは、「**遊び”が単なるレクリエーションではなく、ものごととの向き合い方や、学びの質そのものに関わっているのではないかと、**という問いでした。

今回のセッションでは、その問いをもう一度ひらきながら、「**遊び心があふれる学校**」をテーマに考えていきます。

遊び心とは、自由にふざけることなのでしょうか。余白をもつこと？ 試してみることで？ 誰も答えを知らない問いを楽しむこと？ それとも、“つまらなさ”を面白がろうとする姿勢でしょうか。

「楽しい」を増やすだけでなく、「**楽しさはどこから生まれるのか”楽しさは、みんなで創れるのか”を、参加者のみなさんと一緒に問い直してみたい**と思います。

話して終わりではなく、それぞれが現場や実践に問いを持ち帰り、また明日から試してみたい。そんな、**小さな「遊び心」の種を持ち帰れる時間**になれば嬉しいです。

2026年  
7月4日(土) 14:30~  
17:40

【開催方法】 対面のみ

会場：福井大学文京キャンパス

総合教育研究棟13F大会議室

【参加人数】 100名程度

※会場の都合上、定員を設けておりますが、多くのお申込みをいただいた場合には、可能な範囲で参加枠の拡充も検討しております

【zone E 参加申込】

<https://x.gd/Lo6Vs>

